

“特集” 第2期環境基本計画を策定

二階蔵に豊かな自然

- P 6 築城430年祭記念パレード出演者を募集
- P 8 地デジ分からないことは相談を
- P 9 暮らしのアドバイザーなど委嘱
- P 10 六間線や寺町通りなど市道を整備
- P 11 排水ポンプ車を配備／市有地を売却
- P 12 食を考えよう
- P 13 検診コラム／情報公開実施状況 など

平成大野屋二階蔵の展示作品が入れ替えられました。今回のテーマは「豊かな自然」です。岐阜県郡上市の水野政雄さん制作の展示作品は19点あり、うち絵画が7点。ジオラマなど、昆虫や動物、草木などが生き生きと木や紙を材料に制作されています。水野さんは「大野の自然について考えるきっかけになればいいね」と語りながら、透明なケースの中に、丁寧に作品を置いていました。(4月26日)



第2期環境基本計画を策定 3テーマと10の基本方針

本年度から
10年間

6月は環境月間です。近年、温室効果ガスによる温暖化など地球規模の環境問題が取りざたされています。不法投棄や屋外焼却、生活排水による河川水の汚れ、地下水低下に伴う湧水の枯渇など身近な問題も心配されています。身の周りだけではなく地球全体の環境がよりよくなるためには、市民や事業者の皆さんと市が互いに協力することが重要です。

市では、これらの現状と課題に対応するために、第2期環境基本計画を策定しました。この計画は、平成12年3月に策定した第1期計画を見直して、計画期間を本年度から10年とするものです。本市の環境が望ましい姿に向かうよう3つのテーマや10の方針、本市で行う対策も設定されましたので、その概要をお知らせします。

基本的施策

- 典型7公害の防止
- その他総合的な公害対策
- 水の保全
- 空気の保全
- 土壌の保全
- 河川環境の保全
- 湧水地環境の保全
- 農地環境の保全
- 山林環境の保全
- 生物の保存
- 生物の生息環境の保全

- 良好な景観形成
- 歴史的・文化的遺産の保存
- 地下水の合理的利用
- 地下水滴養対策
- 自然エネルギーの利用
- 省資源、省エネルギーの推進
- 廃棄物の減量
- リサイクルの推進

- 地球温暖化の防止
- 酸性雨対策
- オゾン層の保護
- 森林の保護

- 調査研究と情報提供
- 環境教育と学習の推進
- 庁内体制の充実

重点プロジェクト

・ 清らかな川づくり

・ 豊かな湧水のあるまちづくり

・ 豊かな里地里山づくり

・ 環境にやさしい循環型社会づくり

・ 低炭素社会づくり

・ 環境を思い行動する人づくり



こどもエコクラブ



中野清水

環境像

水循環共生都市 越前おおの

水、物、人がやさしく 触れ合うまちを目指して

将来の望ましい姿を表す「環境像」として設定しました。
 私たちは豊かな自然の中で、特に、本市では水の恵みを受けて生活や生産活動を行っています。私たちが水を大切に、資源のリサイクルに積極的に取り組むなど、地球環境も視野に入れて環境に配慮した生活を送っている姿を表しています。

環境像

基本テーマ

施策の基本方針

水循環共生都市
越前おおの

「自然」と「共生」

清らかな水とさわやかな空気につつまれて、
自然と共に生きるまち 越前おおの

- 1.公害の防止
- 2.自然の構成要素の保全
- 3.自然環境の体系的保全
- 4.生物の多様性の確保

「資源」と「循環」

やすらぎと潤いがめぐり、
資源を大切にすまち 越前おおの

- 5.良好な景観形成および
歴史的文化的遺産の保存
- 6.地下水の合理的利用および
涵養対策
- 7.資源およびエネルギーの有効利用
- 8.廃棄物の減量および
リサイクルの推進

「地球」と「人間」

広い範囲に目を向けて、
身の回りから取り組むまち 越前おおの

- 9.地球環境の保全
- 10.総合的な環境対策

重点プロジェクト 6つの取り組みを優先

清らかな川づくり

水のきれいな、ごみのない清らかな川があるまちをつくる

- ◆合併浄化槽の設置、公共下水道や農業集落排水への加入促進を図ります。
- ◆河川敷の清掃活動や不法投棄防止の啓発を行い、河川環境美化を促します。
- ◆河川流水量の確保についての調査や研究に取り組みます。

豊かな湧水のあるまちづくり

水循環を確保し、将来にわたり豊かな湧水がある名水のまちをつくる

- ◆雨水が地下に浸透するよう田に水を張ったり、雨水浸透施設を設置したり涵養対策を進めます。
- ◆地域住民が行う湧水地の保全活動を支援します。
- ◆本市特有の水文化を後世に引き継ぐため、無理や無駄のない水循環の確保や湧水の再生に取り組みます。

豊かな里地里山づくり

多様な生物が生息する自然豊かで美しい里地里山をつくる

- ◆生態系に配慮した用排水路の整備を進めます。
- ◆生物の生息調査や減少してきたホタルなどの保護活動を行います。
- ◆計画的な植林や適正な間伐や保育を行い、美しい森林の形成を進めます。
- ◆越前おおの型エコ・グリーンツーリズムを進め、地域の活性化を促します。

環境にやさしい 循環型社会づくり

資源が循環する環境にやさしいまちをつくる

- ◆「マイバッグ等持参運動」や物を修理して使う意識を広めます。
- ◆分別収集を徹底し、資源回収活動への支援に取り組みます。

低炭素社会づくり

低炭素社会への取り組みを進め、地球環境の保全に貢献できるまちをつくる

- ◆各家庭や職場、学校、公共施設などで「緑のカーテン」の導入を促し、市民の地球温暖化対策への意識啓発を図ります。
- ◆公共交通機関や自転車などによる環境負荷の少ない通勤手段や通学手段の利用を促します。
- ◆太陽光発電設備について、一般住宅への設置を支援し、公共施設への導入を進めます。

環境を想い 行動する人づくり

環境に対する知識や意識の向上を図り、自ら考え行動できる市民参加型のまちをつくる

- ◆次の世代を担う子どもへの環境教育の充実や、社会教育などの場における環境保全への意識啓発を行います。
- ◆市民が互いに学び合い協力し合う社会づくりに取り組みます。

環境塾で人づくり

環境基本計画に掲げる重点プロジェクトの一つである「環境を想い行動する人づくり」を推進するため、本市の未来を担う子どもなどを対象に、「越前おおの環境塾」を開催します。本年は30人程度の教室を5回開催し、受講料は無料です。毎回、市環境衛生課か図書館、公民館に置いてある所定の申込書を提出してください。

▼**湧水地めぐりと名水そば打ち体験**

7月25日(回)午前9時～午後2時に本願清水イトヨの里とスターランドさかだにて30人程度(小学生は保護者同伴)

▼**簡単ソーラークッキング**

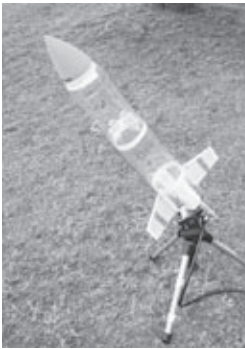
8月1日(回)午前9時～正午に学びの里「めぐり」にて30人程度(小学生は保護者同伴)

▼**星空とホタルの観察会**

6月19日(回)午後7時～9時に大矢戸天文台で30人程度(小学生は保護者同伴)

▼**ペットボトルロケット作り**

8月5日(回)午前9時～正午に有終会館と市民グラウンドで小学校4年生～6年生30人程度



▶ペットボトルを材料にしたロケット。空気ので飛ぶ仕組み
▲太陽光を利用して料理する「ソーラークッキング」

募集期間は7月6日(回)～27日(回)

▼**かわら塾**

(川原の生態調査、川遊び、川の清掃)

8月22日(回)午前9時30分～正午に真名川水辺の楽校(真名川河川敷)で親子30人程度募集期間は7月22日(回)～8月12日(回)

☎ 環境衛生課環境衛生係
066・1111内線543

湧水の再生

市では、従来の地下水保全対策を継続しながら、本市の象徴ともいえる湧水の再生に力点をおいて「湧水再生研究調査事業」に取り組んでいます。

この事業は、平成20年度から実施しています。地下水涵養に向けて水を張る田んぼの面積を拡大するための調査や、湧いてくる水の量を観測します。蓄積されてきた水についての資料を整理し、国や県、市などが情報や考え方を共有し、湧水の再生計画の策定に取り組んでいます。本市の市街地では、地下水

の低下により湧水の減少や枯渇などが見られるようになりまして。名水百選の「御清水」や平成



本願清水(昭和53年ごろ)



本願清水(現在)

の名水百選「本願清水」もポンプの動力を使っておくみ上げて、湧水期をしのいでいるような状態が続いています。このような状況の中、水に係わる行政機関が連携して、豊かで清らかな湧水を次世代に継承していくよう努めます。

毎年結果を報告

本計画では毎年度、環境の状態を把握し、本計画に基づいた具体的な施策や事業などの実施状況、進捗指標である目標値の達成状況などを点検して評価します。結果を環境年次報告書としてとりまとめ、広く公表します。

全文はホームページで

本計画の全文は、市環境衛生課や和泉支所、図書館のほか、市ホームページでご覧ください。

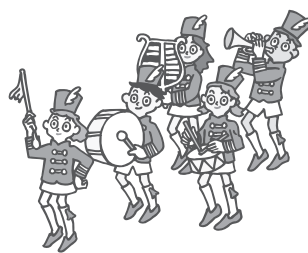


越前大野城築城430年祭 メインイベント



10月10日の記念パレード

出演の申込みは6月30日まで



越前大野城
築城430年
祭メインイベ
ントの一つ「記
念パレード」が
10月10日に開
かれます。パ

レードは、音楽隊など出演者を募集する4つの隊列と園児による子ども武者隊で構成されます。子ども武者隊は大和町の仮設駐車場から、そのほかの隊列は、学びの里「めいりん」から、七間通りや六間通りを経て、結ステーションへと徒歩で行進します。

出演者を募集します。所定の申込用紙で、6月30日までに同祭実行委員会事務局へ申し込んでください。審査結果を通知します。

問 築城430年祭実行委員会事務局
(同祭事業推進室内)

☎ 66・1111内線166

♪音楽隊

内容 吹奏楽隊や鼓笛隊などが演奏をしながら行進します

募集数 若干の団体。1団体当たり20人程度で構成

応募条件 ▼活動の拠点が市内にあること▼演奏しながらの行進ができること。区間全域で演奏する必要はない▼パフォーマンズゾーンでの演奏ができること▼楽器などの輸送を団体で行うこと

♪ふるさと踊り隊

内容 民謡踊り、洋舞、ヨサコイなど、流し踊りを行います

募集数 若干の団体。1団体当たり20人程度で構成

応募条件 ▼活動の拠点が市内にあること▼流し踊りによる行進ができること。区間全域で踊る必要はない▼パフォーマンズゾーンでの踊りができること。輪踊りも可能です▼行進中の音頭や、はやしの方法は実行委員会と協議すること



♪越前おおの時空行列

内容 越前おおのを築いてきた偉人などの姿に装い
行進します

募集数 金森長近公入城行列の武将や足軽は70人程
度、侍女は女性10人程度。越前おおの偉人行列は
30人程度。扮する役柄は選択できません

応募条件 ▼中学生以上の市民が市内に勤務する人
▼事前説明会や隊列パフォーマンスに向けた練習
に参加できること。練習日は後日連絡されます

♪越前おおのアピール隊

内容 ふるさと「越前おおの」や自らの活動をパ
フォーマンスで披露します

募集数 若干の団体。1団体当たり20人程度で構成
応募条件 ▼市民や本市の出身者、市内に勤務する
人で構成されている団体や企業▼団体の構成員全
員が仮装をして行進し、パフォーマンスゾーンで
パフォーマンスを披露すること。申込時に計画書
を添付する▼事前説明会に参加できること

表彰など ▼パフォーマンスを審査し、賞金を授与。
最優秀団体には10万円、ユーモア賞やハッスル賞、
パフォーマンス賞の各受賞者には3万円▼越前お
おのアピール隊への参加準備費として、1団体当
たり3万円を事前に支給します

越前大野城築城430年祭イベント情報

和のひととき 記念茶会

日時 6月20日(日)午前10時～午後3時

場所 武家屋敷旧内山家、平成大野屋平蔵

内容 ▶薄茶席

表千家流(武家屋敷旧内山家)、裏千家流(平成大野屋 平蔵)

和菓子は、430年祭記念菓子を出します

▶「茶の歴史」パネル展示

金森長近公の孫、金森宗和が創始した流派「宗和流」をはじめとする茶道の歴史
を10月まで紹介します。

定員 200人 **参加料** 2席 600円(入館料は無料。和菓子代込み)

その他 茶券は武家屋敷旧内山家で販売します

☎ 大野市博物館(武家屋敷旧内山家) ☎ 65・6122)

市民自主事業

結びくみ展 華になれ!花めぐり 町めぐり

城下町の町並みや通りには由来や物語があります。帯結びや手組みひもで表現して展示
します。期間中、土曜日と日曜日には着付けや組みひもストラップ作りも行います。大野
に似合う着物で遊び心を持って町を巡りませんか。

期間 6月20日(日)～30日(金) **場所** 平成大野屋二階蔵

参加料 着付け 1,000円、組みひもストラップ作り 600円(入館は無料)

☎ サークル彩 (☎ 080・1956・0859)

地上デジタル放送

？ 分からないことは相談を

テレビ放送は、来年7月に地上デジタル放送に完全移行されます。皆さんの家や事業所では準備は済んでいますか。

総務省のテレビ受信者支援センター(デジサポ福井)が、地上デジタル放送の相談会を開催します。アンテナやテレビのことなど地上

デジタル放送について分からないことがあれば相談してください。相談会に参加できない場合、自宅のアンテナや電波の状態などを訪問して説明する個別訪問もありますので、利用してください。

■ 2011.7.31(土) 10:00~11:00
デジサポ福井



デジサポ福井の相談会

- 6月29日(火)
午前10時～正午 市役所内
午後2時～4時 乾側公民館
- 7月6日(火)
午前10時～正午 市役所内
午後2時～4時 下庄公民館



経済的に移行困難な世帯などに チューナー無償で給付

総務省では、経済的な理由などで地上デジタル放送への移行に対応することが難しい世帯に対して、チューナーを無償で給付する支援を行っています。

対象 NHK放送受信料が全額免除となっている世帯

のうち、次のいずれかに該当するもの

- ▼生活保護などの公的扶助を受けている世帯
- ▼障害者がいて、かつ、全員が市民税非課税の世帯
- ▼社会福祉事業施設に同居し、自らテレビを持ち込んでいる世帯。

地上デジタル放送をすでに受信している世帯は対象外です

内容 地上デジタル放送を受信するために、機能が必要最小限のチューナーを訪問して設置します。世帯当たり1台限りです。共同受信施設やケーブルテレビを利用している場合、改修経費としてその世帯の負担額を給付します

申込方法 所定の申込書を7月2日までに支援実施センターへ郵送してください。

申込用紙は、市社会福祉課と情報広報課、NHK窓口に設置。総務省地デジチューナー支援実施センターに電話して取り寄せることもできます

■ 情報広報課情報管理係
☎66・1111内線444

総務省

地デジチューナー
支援実施センター

☎0570・033840

月～金 午前9時～午後9時

土・日・祝日 午前9時～午後6時

くらしのアドバイザー！ 消費生活モニターを委嘱



委嘱式後の研修で、知識を高めるアドバイザーやモニターの皆さん



くらしのアドバイザー4人と消費生活モニター15人を委嘱しました。委嘱式は4月30日に学びの里「めいりん」で行われ、岡田市長から委嘱状が手渡されました。どちらも任期は1年です。

くらしのアドバイザーは、消費生活の専門的な知識を持ち、市民からの相談に応じます。消費生活モニターは、悪質な訪問販売の監視や通報を行います。

春になり、消費者相談セン

●くらしのアドバイザー（敬称省略）

▷大野地区・長谷川佳子▷上庄地区・長田佐知子
▷乾側地区・北山よし子▷下庄地区・佐藤千恵子

●消費生活モニター（敬称省略）

▷大野地区・澤田文子、中村春美▷下庄地区・島田登茂子、田中井昇▷乾側地区・小林すみ子、南部真澄▷小山地区・田中しげ子、吉田幾代▷上庄地区・山田繁美、前田喜美子▷富田地区・泉博子、奥村直子▷阪谷地区・後川ちづ子、中出美智代▷和泉地区・道岸浩子

ターに寄せられる悪質な訪問販売や催眠商法(SF商法)などの相談が増加しています。悪質商法や製品事故からの被害を未然に防止するためにも、疑問がある場合、早めに相談してください。

☎ 66・1111内線464
（生活防災課市民生活係内）
消費者相談センター

林野火災防御訓練を実施 急斜面での消火技術向上を目指す



4月25日牛ヶ原の山林で林野火災防御訓練を実施しました。訓練には消防署員や消防団員ら約50人が参加。斜面でのホース延長や小型ポンプの搬送、急斜面での放水訓練などを実施し、林野火災での消火技術の向上を図りました。

住宅用火災警報器の設置に 協力する事業所に指定証交付

4月13日に、消防本部で住宅用火災警報器設置促進

協力事業所の指定証交付式が行われました。同事業所は防火安全対策の一環として、従業員に対して周知徹底して住宅用火災警報器を設置するよう促進します。

指定証を交付されたのは、

次の6事業所です。

- ▽ニチコン大野株式会社
- ▽ニチコン福井株式会社
- ▽株式会社タニコーテック
- ▽株式会社エツミ光学
- ▽社会福祉法人大野和光園
- ▽協同組合大野商業開発

☎ 消費署予防課

66・0119

六間線ほか市道を整備



結ステーション内に完成した六間線

市街地内の市道2路線が供用開始

市道六間線と市道七間六間線との2路線が4月に供用を開始しました。

市道六間線は、西部アークセス道路の一部で、結ステーションの中心を2車線で通



大和町には七間と六間の両通りを結ぶ路線

る104坪が完成。中心市街地活性化にとって重要な役割を担っています。

市道七間六間線は、七間通りと六間通りを2車線で結ぶ125坪。道路に隣接する大和町の仮設駐車場の活用を進め、歩行者や自転車が安心して安全に通行できるようにと整備が進められました。七間通りや寺町通りの交通緩和が期待されます。



寺町通りの横町通りまでも石畳風に

寺町通りの六間・横町間が新たに石畳風に舗装され、市民や来訪者が城下町の風情を味わいながら散策できるようにになりました。

この舗装は、スポンジ状にしたアスファルトにセメントを流し込んだ特殊なもので、浅く切れ目を入れて石畳風に仕上げられています。目地をなくすことにより、石畳が浮いたり割れた

寺町通りの六間・横町間 石畳風の舗装が完成

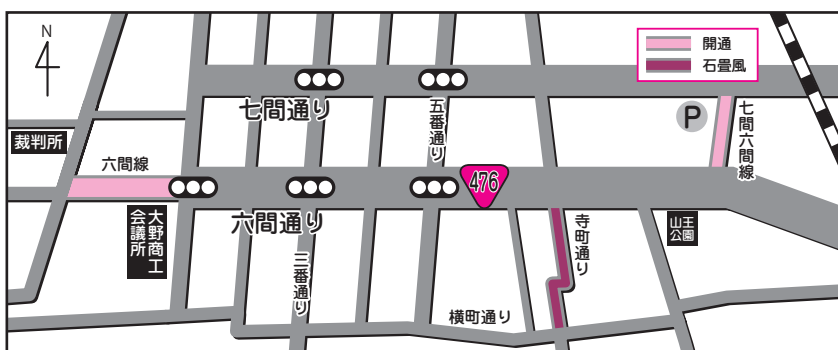
快適に通行できるように、どちらも歩道は雨天などに水が溜まりにくくなる舗

装が施工されています。

☎ 建設課建設整備係
66・1111内線344

りしないよう工夫されています。

☎ 都市計画課都市整備係
66・1111内線355



排水ポンプ車を配備 豪雨による住宅浸水を防ぐ



排水ポンプ車の荷台にある円筒状の浮き輪に水中ポンプを設置して水に浮かし、ホースで排水する。夜間の作業もできるように、ちょうちん型の照明装置を高く伸ばすことができる。

5月17日、毎分30トンの能力で排水することができ、排水ポンプ車を市に配備しました。学校にあるような25リットルに貯められた水を約12分で排水できる能力があります。

近年、全国的に集中豪雨や

突然の大雨で住宅への浸水が起こっています。排水ポンプ車を活用することで、浸水現場で迅速な対応が期待できます。

建設課係

☎ 66・1111内線342

市有地の宅地1件 売り払い

一般競争入札
(期間入札)で

下表に記載した市有地を一般競争入札(期間入札)の方法で売却します。

▼参加要領配布・申込受付

入札参加要領を、6月1日(四)から15日(四)まで、財政課で配布します。市のホームページから入手することもできます。

6月7日(四)から15日(四)までは入札についての質問を、16日(四)から18日(土)までは入札参加の申し込みを受け付けます。

▼入札実施・落札者決定

6月28日(四)から30日(土)までの期間に、郵便か持参による入札を実施し、落札者を決定します。

※市役所での受付時間はすべて、**田回祝日は除く**、午前8時30分～午後5時30分

財政課管財係

☎ 66・1111内線255

対象となる物件

場所	地目	実測面積	用途地域	最低売却価格
大野市中荒井町1丁目202番	宅地	1,606.06平方メートル	第1種住居地域	2830万2000円

※物件は、現状のまま引き渡すこととなります。



敷地の形状など

平坦な土地であり、西側は幅員約7.7メートルの市道、南側は幅員約5.5メートルの市道に面している。南側市道との間には、幅員約0.9メートルの側溝がある。

角地のためすみ切りがあり、敷地の西側に門と鉄柵、南側と東側に鉄柵がある。

6月は
食育月間



越前おおの食育推進
計画ロゴマーク

「食」を考えよう

市では、平成23年度までを計画期間とする「越前おおの食育推進計画」に基づき、各種取り組みを進めています。このたび、平成21年度の取り組み状況がまとまりましたのでお知らせします。

☎ 産業政策課政策推進係 (☎ 66・1111 内線392)

項目	状況 (21年度)	目標値 (23年度)
小・中学校の給食における食材の総使用量に占める地場食材の使用量の割合	47.4% (11月調査)	35%
地元の生産者グループ等が生産する農林産物を利用した給食を実施する小・中学校数	全校	全校
地元の生産者グループ等が生産する農林産物を利用した給食を実施する公立幼稚園数	全園	全園
地元の生産者グループ等が生産する農林産物を利用した給食等を実施する公立保育園数	2/6園	全園
朝食をほとんど食べない小中学生の割合	2.4% (5月調査)	0%
エコファーマーの人数	363人	300人
ふくい食育ボランティアに登録する個人・団体数	36人 10団体	50人 10団体
食育コーディネーターの人数	15人	20人
「食育」に関する教室への延べ参加者数	3,678人	3,100人
製造工程の見学に協力する企業数	5企業	5企業
1人が1日に出すゴミの平均排出量	887g	800g
ゴミのリサイクル率	25.3%	30%

目標を達成

越前おおの 食守フェスタ2010

推進計画の基本理念である「食守」^{しよくもり}を広く市民に知ってもらい、「食」を守る担い手の活動を促進していくため「越前おおの食守フェスタ2010」を開催します。

日時 6月5日(土) 午前9時～午後3時

場所 有終会館
※「第25回福祉ふれあいまつり」と同時開催

内容 米粉を使った料理の試食
食育活動に取り組む団体のパネル展示など

☎ 同フェスタ実行委員会事務局
(産業政策課内 ☎ 66・1111 内線392)

本年もクールビズで

市・市議会

市や市議会では、6月1日から9月30日まで「クールビズ」に取り組みます。

ん。ご理解とご協力をお願いします。

市職員や市議会議員は、通常の執務だけではなく、会議などへの出席も軽装とし、上着やネクタイを着用しませ

☎ 総務課職員係
(☎ 66・1111 内線242)
議会事務局庶務係
(内線252)

検診コラム

「がんは身近な健康問題」

メタボリックシンドローム対策に有効な「特定健診」と同時に受診できる「がん検診」は、毎年のように受診する必要があります。そもそも「がん」とは何か考えてみましょう。

◆65歳以上の2人に1人が、がんで死亡

平成19年の死亡者数は約110万人で、このうち「がん」が原因で約34万人が死亡しています。日本人の約3人に1人が、がんで死亡していることになります。特に65歳以上では2人に1人が、がんで死亡しています。一生の間には、日本人の2人に1人が、がんになるといわれています。

2人に1人が、がんになり、3人に1人が、がんで死亡しているのです。

◆がん細胞は毎日5千個もできている

私たちの体は、約60兆個の細胞でできています。そのうち毎日1兆くらいの細胞が死んでいるのです。そこで、細胞分裂によって補う必要があります。細胞分裂では、細胞の設計図である遺伝子のDNAを毎日数千億回、コピー(複写)を行っていますが、コピーに誤りを起こすことがあります。遺伝子の「突然変異」です。

多くの場合、突然変異を起こした細胞は生きていきませんが、ある遺伝子に突然変異が起こると、細胞は死なずに分裂を繰り返すことになります。この死なない細胞が、「がん細胞」です。健康な体でも学説によっては日当たり千個から5千個もできると言われています。

◆体の中で、がん細胞が育っている

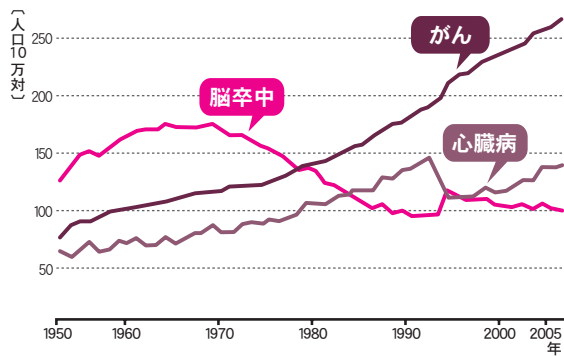
できたばかりのがん細胞は、免疫細胞によって攻撃されて死滅します。私たちの体の中では戦いが繰り返されているのです。ひっそりと残ったがん細胞が時間を掛けて「がん」になっていくのです。

(健康増進課 井上幸子保健師)

※女性のためのがん検診手帳(福井県)を参考にしました。

【主な死亡原因はどう変化してきたか】

(1950年～2005年)



情報公開条例では、平成10年4月1日以降に市が作成、取得した文書について、公開請求できることが定められています。それ以前の文書については、市が努めて同じように取り扱うことになっています。集計では、前者を公開請求、後者を公開申出(大野市以外の請求を含む)と区別しています。個人情報保護条例では、市が保有する自己を本人とする保有個人情報の開示などを請求することができます。平成21年度の開示請求はありませんでした。

平成21年度情報公開実施状況

区分	受付件数	決定件数		不存在
		公開	非公開	
公開請求	19件	16(10)件	0件	3件
公開申出	15件	15(9)件	0件	0件
計	34件	31(19)件	0件	3件

※公開のカッコ内は一部公開の数を示しています。

※非公開はありませんでした。受付件数の実施機関別内訳は、市長24件、教育委員会2件、選挙管理委員会3件、消防長1件、議会4件でした。(異議申し立ては3件)

平成21年度中に「大野市情報公開条例」に基づく文書の公開請求などがあったものについて、その実施状況をお知らせします。

平成21年度
実施状況

情報公開 個人情報開示

自治振興室自治振興係
☎ 66・1111内線244